

庄内川直轄河川改修事業

説明資料

平成29年9月25日

国土交通省中部地方整備局
庄内川河川事務所

目 次

1. 事業の概要	
1) 流域の概要	1
2) 主要洪水	2
3) 事業の目的及び計画内容	3
2. 評価の視点	
1) 事業の必要性等に関する視点	
(1) 事業の投資効果	4
(2) 事業費の増額	5
(3) 事業を巡る社会経済情勢等の変化	6
(4) 事業の進捗状況、進捗見込みの視点	7
3. 県への意見聴取結果	9
4. 対応方針（原案）	9

1. 事業の概要

1) 流域の概要

庄内川は、その源を岐阜県恵那市の夕立山(標高727m)に発し、岐阜県内では土岐川と呼ばれています。瑞浪市で小里川、土岐市で妻木川、多治見市で笠原川等の支川が合流し、岐阜・愛知県境に位置する玉野渓谷を抜け、春日井市高蔵寺で濃尾平野に出て、その後矢田川等の支川が合流し、名古屋市の北西部を流下して伊勢湾に注ぐ、幹川流路延長約96km、流域面積1,010km²の一級河川です。

- 流域面積 : 1,010km²
- 幹川流路延長 : 約96km
- 大臣管理区間 : 庄内川 62.5km 矢田川 7.0km、
小里川 2.6km、猿爪川 1.8km、新田川 0.6km
- 流域内市町村 : 19市4町(名古屋市、多治見市等)
- 流域内人口 : 約440万人
- 年平均降水量 : 約1,500~1,700mm(山間部)
約1,400~1,500mm(平野部)



小田井遊水地



小里川ダム



名古屋市北区

新川

新川洗堰

庄内川

矢田川

名古屋市北区

新川洗堰



2) 主要洪水

庄内川における主要洪水としては、昭和34年9月洪水(伊勢湾台風)、平成元年9月洪水(台風22号)、平成12年9月洪水(東海豪雨)、平成23年9月洪水(台風15号)などがあります。

平成12年9月洪水(東海豪雨)では派川である新川の堤防が決壊したのをはじめ、名古屋市内でも広範囲に浸水被害が発生しました。

平成23年9月洪水(台風15号)では、中流部の下志段味※地区で越水による浸水被害が発生するとともに、上流部の多治見地区などにおいて内水被害が発生しました。

※名古屋市守山区

発生日月	原因	基準地点流量		被害等
		枇杷島	多治見	
昭和32年 8月7日	秋雨前線	—	—	被災家屋:22,428戸(愛知県)、4,540棟(岐阜県)
昭和34年 9月26日	台風15号 (伊勢湾台風)	—	—	被災家屋:140,569戸(愛知県)、6,227棟(岐阜県)
昭和36年 6月27日	梅雨前線 台風6号	1,520	—	水害区域面積:7,374ha(愛知県)、479ha(岐阜県) 被災家屋:39,604棟(愛知県)、171棟(岐阜県)
昭和47年 7月12日	梅雨前線	1,600	1,330	水害区域面積:229.3ha(愛知県)、344.8ha(岐阜県) 被災家屋:832棟(愛知県)、1,515棟(岐阜県)
昭和50年 7月4日	梅雨前線	1,570	1,510	水害区域面積:3,091.5ha(愛知県)、96.9ha(岐阜県) 被災家屋:10,315棟(愛知県)、107棟(岐阜県)
昭和51年 9月8日	台風17号	1,270	770	水害区域面積:3,476.5ha(愛知県) 被災家屋:8,713棟(愛知県)
昭和58年 9月28日	秋雨前線 台風10号	1,930	1,400	水害区域面積:526.6ha(愛知県)、8.4ha(岐阜県) 被災家屋:7,871棟(愛知県)、164棟(岐阜県)
昭和63年 9月25日	熱帯低気圧 秋雨前線	1,600	1,420	水害区域面積:317.9ha(愛知県)、111.9ha(岐阜県) 被災家屋:1,896棟(愛知県)、94棟(岐阜県)
平成元年 9月20日	台風22号	1,860	1,840	水害区域面積:27.6ha(愛知県)、62.1ha(岐阜県) 被災家屋:84棟(愛知県)、571棟(岐阜県)
平成3年 9月19日	台風18号 秋雨前線	2,200	1,330	水害区域面積:965.9ha(愛知県)、3.9ha(岐阜県) 被災家屋:6,440棟(愛知県)、16棟(岐阜県)
平成11年 6月30日	梅雨前線	1,950	1,490	水害区域面積:11ha(岐阜県) 被災家屋:1棟(愛知県)、120棟(岐阜県)
平成12年 9月12日	秋雨前線 台風14号 (東海豪雨)	3,520	1,500	水害区域面積:10,476.6ha(愛知県)、10.5ha(岐阜県) 被災家屋:34,041棟(愛知県)、8棟(岐阜県)
平成23年 9月20日	台風15号	3,100	1,300	水害区域面積:186.5ha(愛知県)、1.6ha(岐阜県) 被災家屋:670棟(愛知県)、16棟(岐阜県)



平成12年9月洪水(東海豪雨)
新川決壊地点の状況



平成12年9月洪水(東海豪雨)
一色大橋付近の越水状況



平成23年9月洪水(台風15号)
多治見地区の内水氾濫発生状況



平成23年9月洪水(台風15号)
下志段味※地区の越水状況

出典)昭和32年～平成12年洪水 :庄内川水系河川整備計画より。

平成23年洪水 :基準地点流量は庄内川河川事務所資料より、被害等は水害統計より。

3) 事業の目的及び計画内容

平成20年3月に策定した「庄内川水系河川整備計画」において、河川整備基本方針の整備水準に向けて段階的に整備を進めることとし、庄内川の大庄管理区間における当面の整備目標は、中下流域(愛知県区間)は平成12年9月洪水(東海豪雨)、上流域(岐阜県区間)は平成元年9月洪水(台風22号)を安全に流下させることを目標としています。

河川整備計画の主な整備内容

整備項目	全体数量
堤防整備・堤防強化	10.3Km ^{※1}
高潮堤防整備	2.3km
河道掘削	177万m ³
橋梁改築	4橋 ^{※2}
内水対策	1箇所
新川洗堰対策	1箇所
危機管理型ハード対策	1.4Km ^{※3}

- ※1 堤防強化には、耐震対策、浸透対策を含む。
- ※2 橋梁改築は、庄内川特定構造物改築事業にも位置付けられている。
- ※3 平成27年9月の関東・東北豪雨災害を踏まえ、新たに「水防災意識社会再構築ビジョン」の取組の一環として、氾濫が発生した場合でも堤防決壊までの時間を少しでも引き延ばす「危機管理型ハード対策」を実施。

【事業概要】

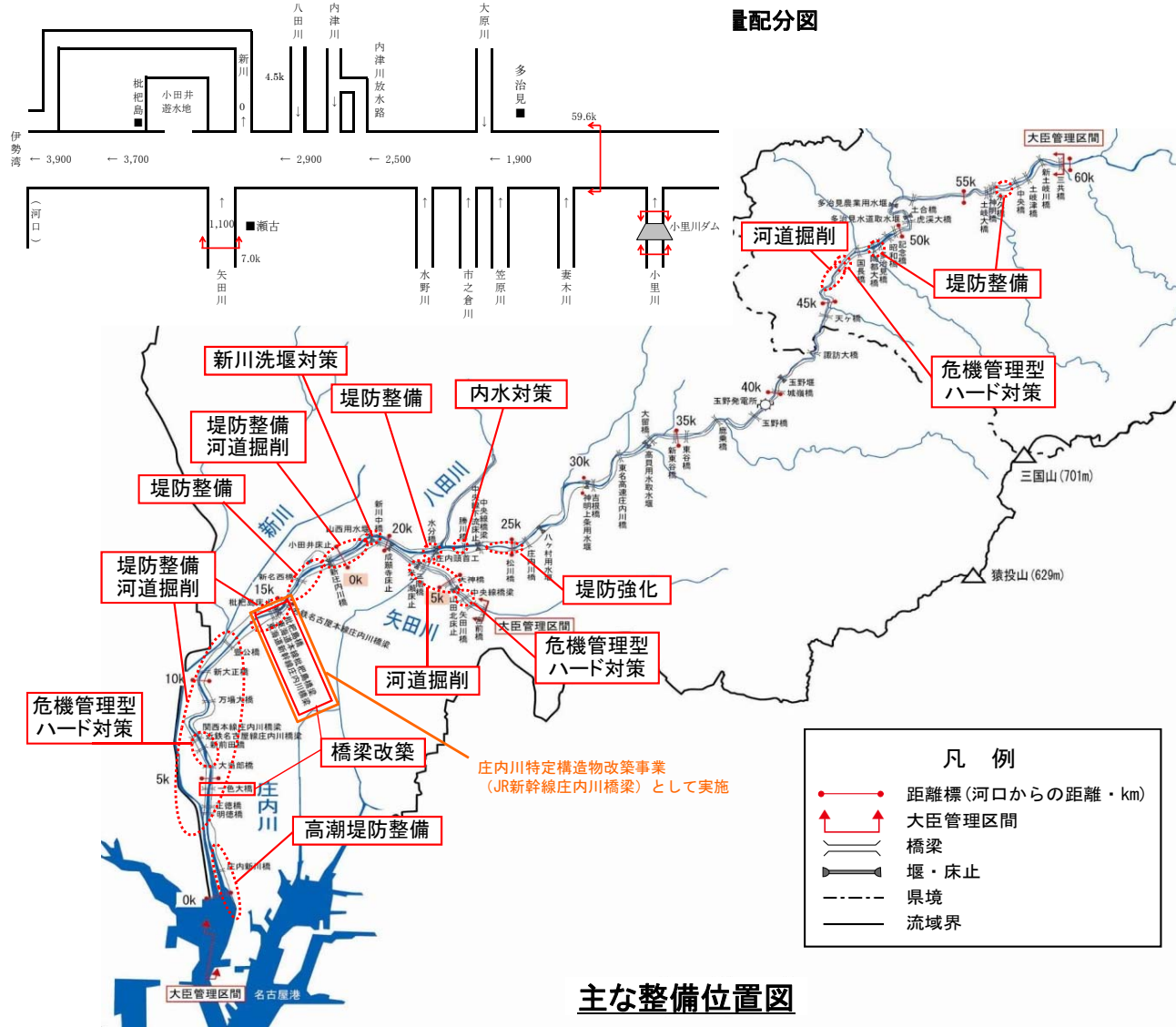
- ・事業費 … 1,554億円
- ・事業期間 … 平成18年度～平成49年度

費用対効果 B/C = 33.7(H26再評価時)

河川整備計画において目標とする流量と河道整備流量

河川名	基準地点名	河川整備計画目標流量	洪水調節施設※による洪水調節量	河道整備流量	備考
庄内川	枇杷島	3,900m ³ /s	200m ³ /s	3,700m ³ /s	観測史上最大洪水(平成12年9月東海豪雨対応)
	多治見	2,100m ³ /s	200m ³ /s	1,900m ³ /s	観測史上最大洪水(平成元年9月洪水対応)

※小里川ダム及び小田井遊水地



主な整備位置図

2. 評価の視点

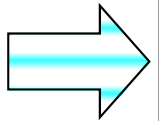
1) 事業の必要性に関する視点 (1) 事業の投資効果

河川整備計画の目標規模の大雨(中下流域：平成12年9月洪水(東海豪雨)、上流域：平成元年9月洪水(台風22号))が降ったことにより想定される氾濫被害は、**浸水面積約9,000ha、浸水人口約66万人、浸水家屋数約30万世帯**であり、事業を実施することで氾濫被害が軽減します。

事業実施前



事業実施前の氾濫想定図(河川整備計画目標規模)



事業実施後



事業実施後の氾濫想定図(河川整備計画目標規模)

(2) 事業費の増額

○危機管理型ハード対策の追加による増額 …… 0.6億円

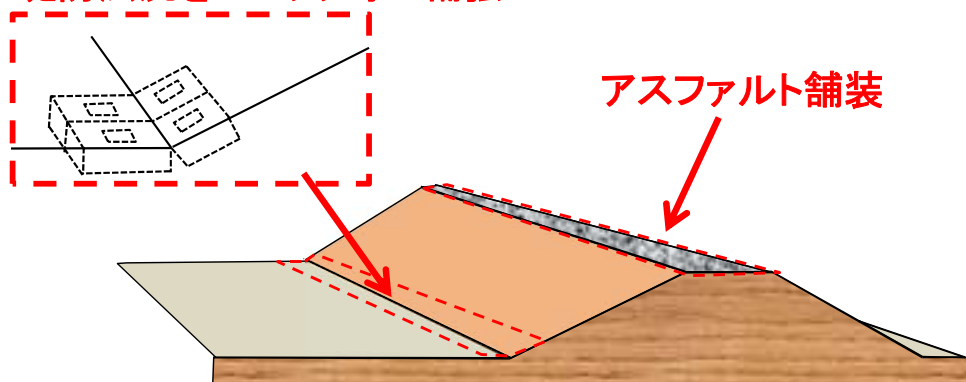
◆危機管理型ハード対策追加による増額

- 平成27年9月の関東・東北豪雨を踏まえ、新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」として、全ての直轄河川において、平成32年度を目処に水防災意識社会を再構築する取組を行っている。
- その取組の一環として、越水等が発生した場合でも堤防決壊までの時間を少しでも引き延ばす『危機管理型ハード対策』を実施している。
- これに伴い、**約0.6億円**の事業費の増額が必要となった。



堤防法尻をブロック等で補強

アスファルト舗装

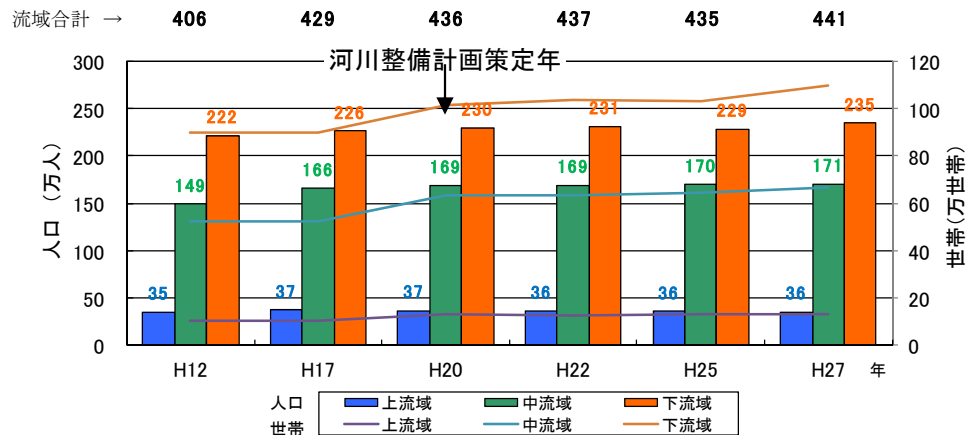


(3) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

流域市町村の人口は、河川整備計画が策定された平成20年以降ほぼ横ばいとなっています。

庄内川の浸水想定区域は、中部圏の中核機能や交通機関の拠点を抱え、治水上極めて重要です。

流域市町村の人口の推移



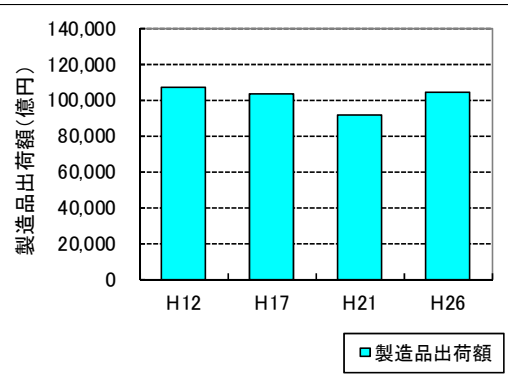
- 上流域** 多治見市、瑞浪市、恵那市、可児市、土岐市
- 中流域** 一宮市、瀬戸市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、尾張旭市、岩倉市、長久手市、豊山町、大口町、扶桑町、名古屋市の(守山区)
- 下流域** 名古屋市(守山区を除く)、北名古屋市の、清須市、大治町、あま市の(旧基目寺町のみ)

流域の主要交通網

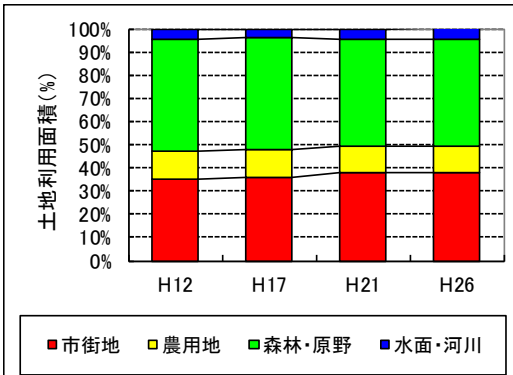


- 凡例
- 鉄道 (JR線)
 - 鉄道 (JR線以外)
 - 自動車専用道路
 - 国道
 - 庄内川流域
 - 県境
 - 大臣管理区間
 - 基準地点
 - 主要地点
 - 浸水想定区域

流域市町村の製造品出荷額の推移



流域市町村の土地利用の推移



出典) 愛知県統計年鑑(第7章鉱工業)、岐阜県統計ライブラリ(工業統計調査)より

出典) 愛知県統計年鑑(第1章統計表)、岐阜県ライブラリ(市町村別、地目別面積)より

注) H26の製造品出荷額、土地利用については、あま市全体の集計となっており、基目寺町以外に七宝町、美和町も含んでいる

(4)事業の進捗状況、進捗見込みの視点

河川整備計画策定以降、平成12年9月洪水(東海豪雨)規模の洪水を安全に流下させるため、中下流域の堤防整備や堤防強化、河道掘削等を実施しています。

河川整備計画に基づく事業の進捗率は、事業費ベースで41%程度となっています。

(参考: 前回評価時の事業進捗率は32%程度)

整備計画策定以降の主な整備状況

整備項目	全体	H26年度末 完成	H29年度末 完成(予定)
堤防整備・堤防強化	10.3km	5.9km	6.0km
高潮堤防整備	2.3km	2.3km	2.3km
河道掘削	177万m ³	65万m ³	91万m ³
橋梁改築	4橋	1橋	1橋
内水対策	1箇所	-	-
新川洗堰対策	1箇所	-	-
危機管理型ハード対策	1.4km	-	1.4km

平成30年3月末予定

- ※1 堤防強化には、耐震対策、浸透対策を含む。
- ※2 橋梁改築は、庄内川特定構造物改築事業にも位置付けられている。
- ※3 平成27年9月の関東・東北豪雨災害を踏まえ、新たに「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づくハード対策の一環として、氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」を導入し、平成32年度を目途に実施。

庄内川中下流域



事業実施区間

(4) 事業の進捗状況、進捗見込みの視点

平成27年度から平成29年度までに、地元や関係機関と調整を行い、堤防整備や河道掘削、危機管理型ハード対策を実施しました。
 残事業については、引き続き、地元や関係機関と調整を行い、実施します。

事業実施状況



堤防整備状況(山田地区)
(H28年度実施)

事業実施状況



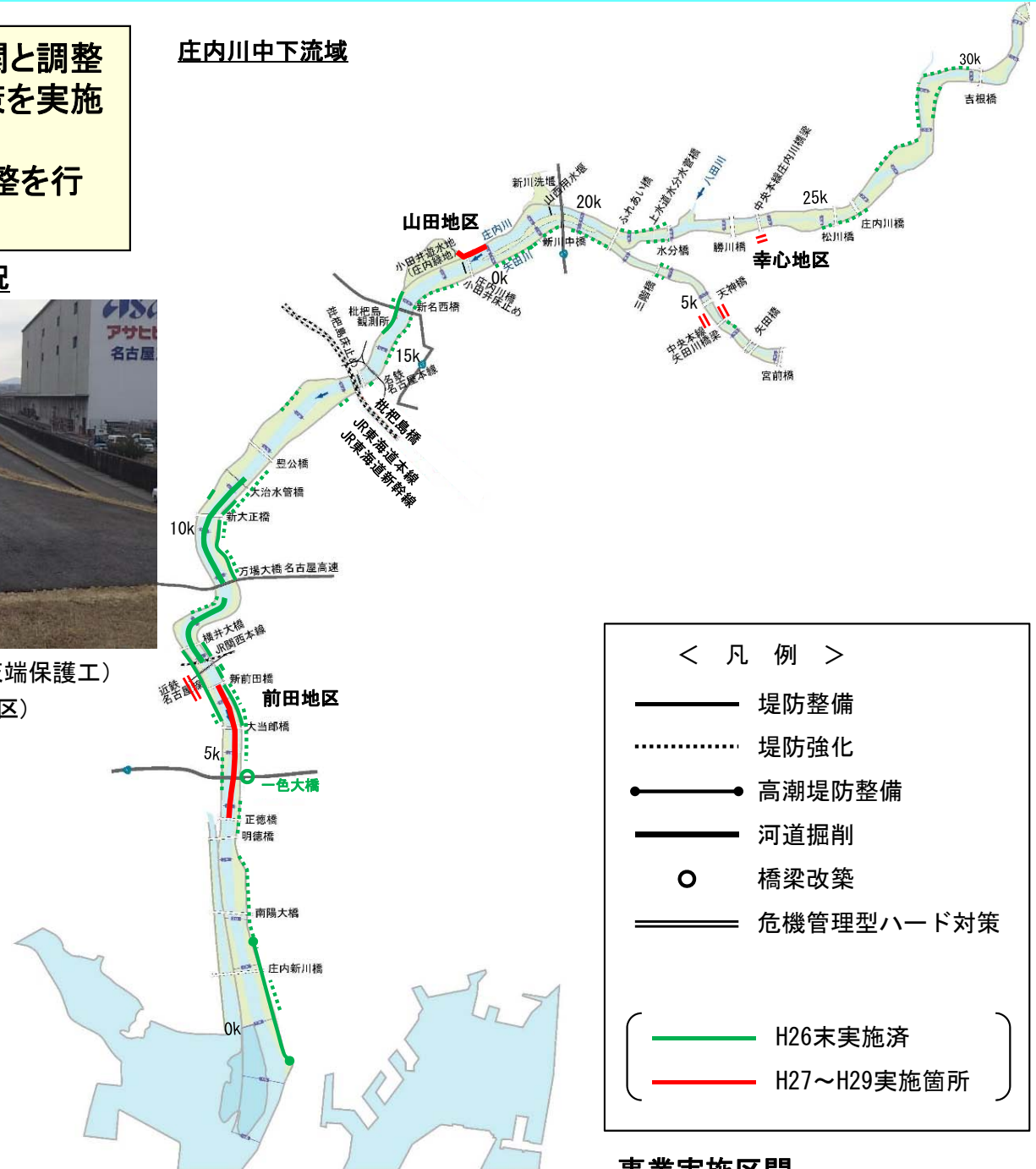
河道掘削状況(前田地区)
(H28年度実施)

事業実施状況



危機管理型ハード対策(天端保護工)
整備状況(幸心地区)
(H27年度実施)

庄内川中下流域



< 凡 例 >

- 堤防整備
- 堤防強化
- 高潮堤防整備
- 河道掘削
- 橋梁改築
- ==== 危機管理型ハード対策

(——— H26末実施済
 ——— H27~H29実施箇所)

事業実施区間

3. 県への意見聴取結果

県への意見聴取結果は以下の通りです。

(岐阜県)

- ・ 対応方針（原案）のとおり、事業の継続について異存ありません。
- ・ なお、今後の事業の実施にあたっては、下記の内容についてご配慮願います。
多治見市浸水対策実行計画に位置付けられた治水対策を確実に実施するようお願いいたします。
事業費については、最新技術の活用も含めて、徹底したコスト縮減をお願いいたします。
河川の工事の実施にあたっては、多自然川づくりを基本とし、自然と共生した川づくりを進めるようお願いいたします。

(愛知県)

- ・ 「対応方針(原案)」案に対して異議はありません。
- ・ 整備計画に位置付けられた事業を着実に実施し、整備目標である平成12年東海豪雨規模の洪水時において、新川洗堰による庄内川から新川への越流量0m³/sの早期実現をお願いしたい。
- ・ なお、事業実施にあたっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。

4. 対応方針(原案)

以上のことから、庄内川水系河川整備計画に基づく、庄内川直轄河川改修事業を継続する。